

農 研 速 報

平成 22 年 3 月 23 日 発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室

〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974

TEL:0297-62-0206 FAX:0297-64-0667

麦の生育状況(3月19日現在、龍ヶ崎市)

地 域 名	麦 種 (品種)	生育ステージ	対平年遅速	生育(作柄・品質)概況	備 考
茨城県 (龍ヶ崎市)	11月10日播種 小麦 (農林61号) (さとのそら)	節間伸長期 節間伸長期	早い —	3月第3、4半旬の気象を平年と比較すると下記の通りである。 気温は3月第3、4半旬ともに高く推移した(図1)。降水量は3月第4半旬で多く、平年比116%であった(図2)。日照時間は、3月第3半旬が多照で推移したため、平年比122%であった(図3)。	適期に効果的な追肥ができるよう、資材等の準備を始める。
	六条大麦 (カシマムギ)	節間伸長期	平年並	3月19日現在の生育を平年と比較すると下記の通りである。	①適正タンパク達成圃場は、生育量が過剰でなければ茎立ち期に追肥する。
	二条大麦 (ミカモゴールドン)	穂孕期	—	11月10日播種では、麦種によらず主稈葉数は平年より0.5~0.6枚と多く、主稈長は平年比118~151%と長く、幼穂長は平年比106~172%と長い。11月19日播種の農林61号は主稈葉数が0.8枚多く、主稈長は平年比146%と長く、幼穂長は平年比118%と長い(表1)。今後の気温が平年並に推移した場合、出穂期は11月10日播種の農林61号が4日、カシマムギが1日早く、11月19日播種の農林61号は平年並と予測される(表2)。	②低タンパク傾向の圃場は、出穂前15日頃に追肥する。
	11月19日播種 小麦 (農林61号)	節間伸長期	平年並	11月10日播種では、農林61号は草丈は高く、茎数は少なく、葉色はやや濃い。カシマムギは草丈は高く、茎数はやや多く、葉色はやや淡い。11月19日播種の農林61号は、草丈は高く、茎数はやや少なく、葉色は淡い(表1)。	③倒伏程度の高い圃場や高タンパク傾向の圃場は、追肥をしない。
				図4、5に3月19日現在の所内麦類の生育状況を示した。	赤かび病を適期に防除する。防除適期は、大麦では穂揃期、小麦では開花期(出穂後7~10日)である。

表1 輪換畑における麦類の生育(龍ヶ崎市 中粗粒灰色低地土、水田利用研究室)

平成22年 3月19日現在

播種期	麦種	品種名	主稈葉数			主稈長			幼穂長		
			本年値 (枚)	平年値 (枚)	平年差 (枚)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)	本年値 (mm)	平年値 (mm)	平年比 (%)
11/10	小麦	農林61号	8.5	7.9	0.6	138.2	91.4	151	9.1	5.3	172
		さとのそら	9.4	—	—	83.7	—	—	7.4	—	—
	六条大麦	カシマムギ	9.8	9.3	0.5	97.7	82.8	118	14.7	13.9	106
	二条大麦	ミカモゴールドデン	10.4	—	—	208.0	—	—	28.6	—	—
11/19	小麦	農林61号	8.2	7.4	0.8	57.2	39.3	146	3.3	2.8	118

播種期	麦種	品種名	草丈			茎数			葉色		
			本年値 (cm)	平年値 (cm)	平年比 (%)	本年値 (本/m ²)	平年値 (本/m ²)	平年比 (%)	本年値 (SPAD)	平年値 (SPAD)	平年比 (%)
11/10	小麦	農林61号	43.7	39.9	110	1,317	1,392	95	40.7	39.7	103
		さとのそら	39.0	—	—	1,547	—	—	39.6	—	—
	六条大麦	カシマムギ	30.7	28.0	110	1,263	1,221	103	42.3	43.3	98
	二条大麦	ミカモゴールドデン	39.2	—	—	1,687	—	—	33.0	—	—
11/19	小麦	農林61号	38.1	30.3	126	1,587	1,624	98	40.2	42.5	95

耕種概要

- 1) 圃場来歴: 輪換畑2年目(前作大豆)
- 2) 播種期: 平年の播種期は11月10日、20日
- 3) 播種量: (小麦・六条)0.8kg/a、(二条)1.0kg/a
- 4) 播種様式: 条間30cm、ドリル播き
- 5) 施肥量: (小麦)N-P₂O₅-K₂O=1.0-1.5-1.3kg/a、(六条・二条)N-P₂O₅-K₂O=0.8-1.2-1.1kg/a
- 6) 踏圧: 11月10日播種は12月25日、11月20日播種は1月15日にそれぞれ1回ずつ実施。
- 7) 追肥: 11月10日播種は3月2日、11月19日播種は3月19日に窒素成分で0.4kg/aを硫酸で全面施用した(二条大麦除く)。
- 8) 平年値: 平成16～20年の5カ年の平均値

表2 幼穂長から予測した出穂期(平成22年 3月19日現在)

播種期	麦種	品種名	予測値*			平年値 (月.日)
			やや低温 (月.日)	平年並 (月.日)	やや高温 (月.日)	
11/10	小麦	農林61号	4.17	4.15	4.13	4.19
	六条大麦	カシマムギ	4.9	4.7	4.6	4.8
11/19	小麦	農林61号	4.27	4.24	4.21	4.24

* 出穂予測値のやや低温・平年並・やや高温は、調査日以降の平均気温がそれぞれ-1℃・平年並・+1℃で推移した場合の予測値を示す。

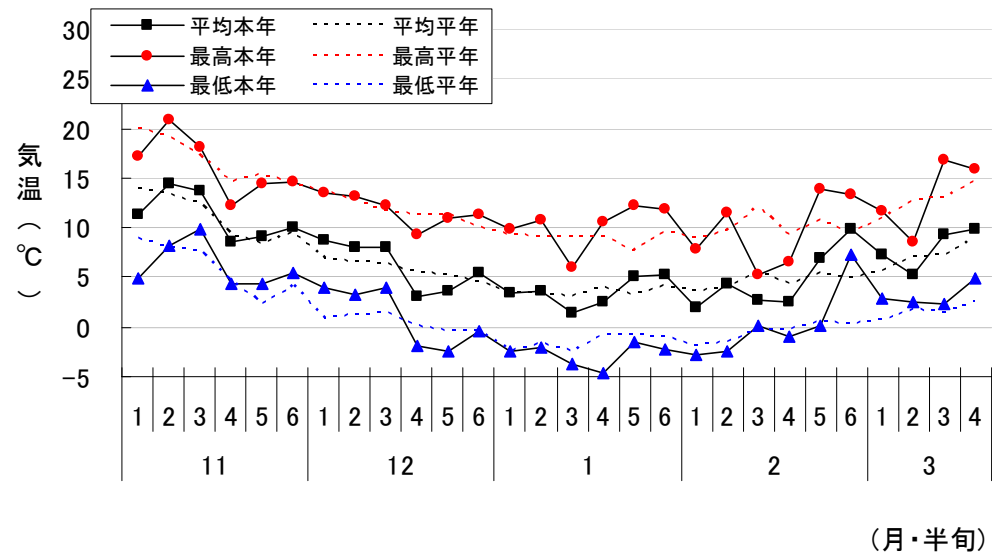


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移

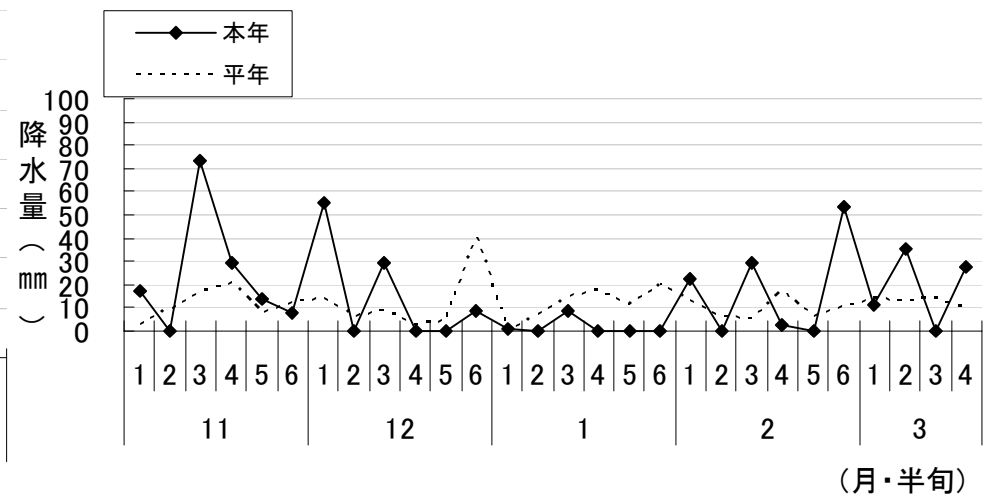


図2 半旬別降水量の推移

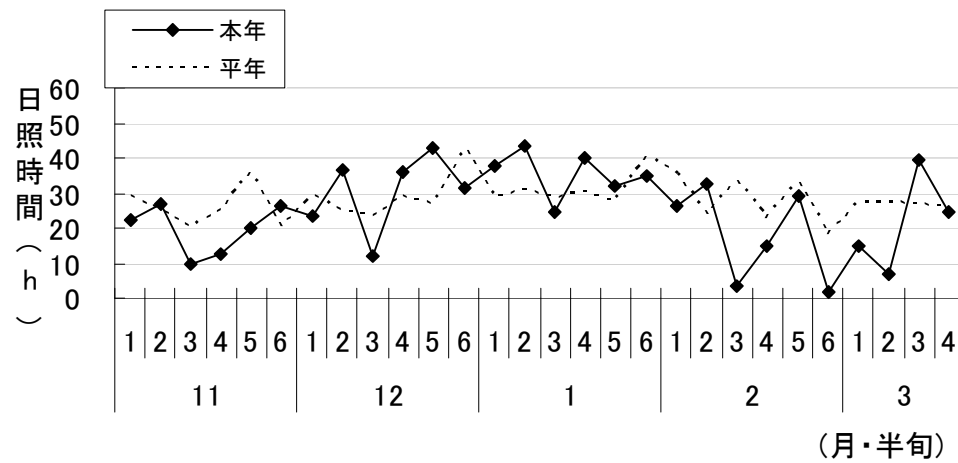
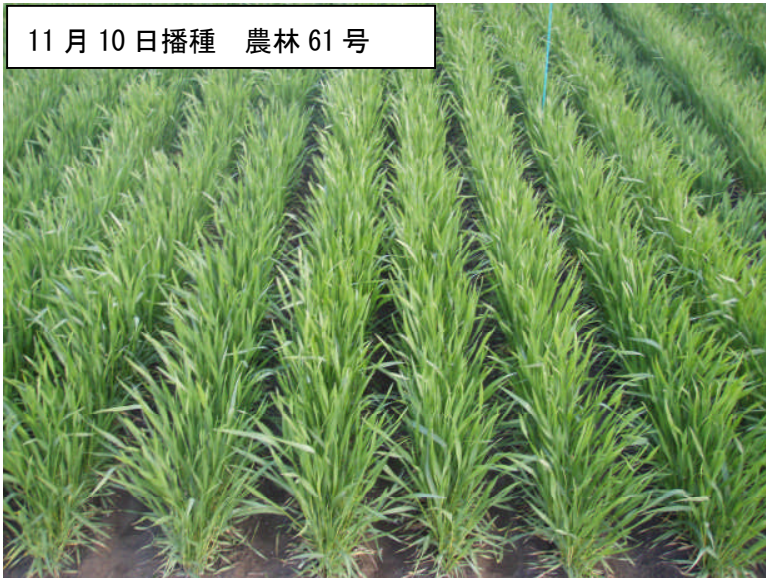


図3 半旬別日照時間の推移

11 月 10 日播種 農林 61 号



11 月 10 日播種 さとのそら



11 月 19 日播種 農林 61 号

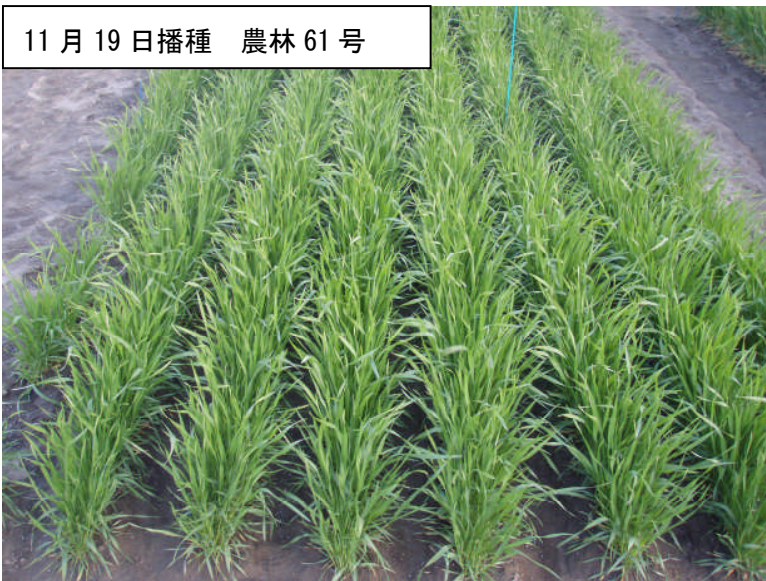


図 5 麦類の生育状況 (3 月 19 日撮影)



図 6 麦類の生育状況(3 月 19 日撮影)